



学院史編纂室便り

NO. 41 (2015.6.15)
関西学院大学 学院史編纂室

★『関西学院史紀要』第21号の発行

3月15日に『関西学院史紀要』第21号を発行しました。当紀要は「関西学院リポジトリ」に登録されていますが、印刷物をご希望の場合は学院史編纂室までご連絡ください(創刊号、2号、12号、13号、15号は在庫なし)。

- | | | |
|----------------|---|---------------|
| 【論 文】 | 関西学院新制中学部誕生物語～資料に基づく回顧～
河上丈太郎の信仰と思想形成についての一考察～関西学院教授時代～ | 今田 寛
中村 和光 |
| 【記 録】 | 第41回 関西学院史研究会 関学アメリカンフットボールと私
第42回 関西学院史研究会・関西学院創立125周年記念シンポジウム
W.R. ランバス宣教師の足跡を訪ねてーブラジル・アメリカ・中国への旅からー
パネリスト: ルース・グルーベール、多田 義治、池田 裕子、コーディネーター: 神田 健次 | 武田 建 |
| 【資 料】 | 村上博輔日記抄(14) | |
| 【学院史編纂室共同研究報告】 | | 神田 健次 |

★『Thy Will Be Done - 聖和の128年』の刊行

3月31日、聖和史刊行委員会(委員長: 山本伸也教育学部教授)より、標記の年史(B5版、311頁、関西学院大学出版会、定価3,200円+税)が刊行されました。3つの源流をもつ聖和の歴史的背景を明らかにするため、1880年から1950年までは特に詳しく記述されています。年表とその解説に加え、26の興味深いコラムが写真と共に聖和の精神を伝えてくれます。

★サンドラ・カルニエテ元ラトビア外相の来訪

2015年2月19日、ラトビア共和国のサンドラ・カルニエテ欧州議会議員(元外務大臣)が関西学院を訪問され、文学部北に植えられたイアン・オズリン記念樹をご覧になりました。カルニエテさんは、EUIJ 関西セミナー講演会「In Difficult Times: EU, Eastern European and Russian Relations」の講師として来学され、ご著書『ダンスシューズで雪のシベリアへ あるラトビア人家族の物語』(黒沢歩訳)と *Song to Kill a Giant, Latvian Revolution and the Soviet Empire's Fall* を大学図書館にご寄贈くださいました。

ご帰国後、「我が同胞オズリンが関西学院で教えていたことは、私にとって感動的発見でした」とのメッセージをお寄せになりました。



★D. R. マッケンジーの曾孫がカナダ研究客員教授に

1910年にカナダ・メソジスト教会から関西学院に初めて派遣された宣教師はC. J. L. ベーツとD. R. マッケンジーでした。それから105年後の本年4月、後者の曾孫に当たるポール・ウィリアムズさん(トロント大学医学部教授)がカナダ研究客員教授として着任されました。招聘期間は7月末までです。



★天皇杯全日本サッカー選手権大会パンフレットの寄贈

前号で紹介した標記パンフレットが学院史編纂室に寄贈されました。堺井秀雄さん(高商昭7)がパンフレットの表紙絵を描き始めたのは第52回大会(1973)からで、以来19年間描き続けられました。当初、欠号が2冊あるとお聞きしていましたが、永井昭さん(高商昭23、経済昭26)が手を尽くされた結果、堺井さんが表紙絵を描かれた19冊全て揃えることができました。



第43回 関西学院史研究会 (申し込み不要・一般参加歓迎)

日 時: 7月24日(金) 14:00~15:30
 場 所: 吉岡記念館2階研修室1 (西宮上ヶ原キャンパス)
 講 師: 辻 学 (広島大学大学院総合科学研究科教授)
 演 題: 院長に求められるもの - 院長職の過去・現在・未来 -